

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かつたり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	運営推進委員会では地域の方や民生委員が参加されているが、防災の避難所でもある地域の小学校などとも連携が取れ、情報交換できることを期待する。	地区の避難先である小学校や近隣の保育所などの施設と交流を図り、災害時などの協力体制を明確にする。	・民生委員や小学校、保育所などの近隣施設の職員と情報交換を行い、地域での協力体制について確認する。	12ヶ月
2	38	法人内の事業所で停電があり、電気が使えない状況が起きた。ライフラインが使えなくなることを想定し、BCPに追記することを期待する。	ライフラインが途絶えた時も事業が継続できるように体制を整える。	・ライフラインが途絶えた時を想定したBCPは策定してあったが簡易であったため、より詳細なものに修正する。 ・修正したBCPを踏まえて必要な物品を明確化し、準備を行う。 ・ライフラインが途絶えた場合を想定したBCP訓練を実施する。	12ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。